

翠星高校との議会報告で寄せられた意見について R5. 1. 20

(テーマ)

- ・ 住み続けたいと思うまちづくり
- ・ 若者（自分達）がまちづくり（政治）に興味を持つためには
- ・ どうなれば（どうすれば）若者（自分達）は投票（選挙）に行くか

No	議会報告会での高校生からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	バスなどの公共交通機関が充実していると高校への通学が便利で住みやすい。	通学や通勤につきましては、利用者が移動したい時間帯が重なるため、運転手不足の現在では、様々な地域から様々な方向への移動をカバーすることはできない状況です。また、通学に関しまして、最寄りの駅から学校までの運行本数だけでも充実させようとしても、高校生の多くは雨天時や積雪時のみの御利用であり、実現は非常に難しい状況です。市といたしましては、赤字路線への支援を継続するなど、路線の維持存続を図るとともに、めぐーるにつきましては、限られた本数を効率的に運行するよう努めておりますので、利用促進に御理解と御協力をいただければと思います。
2	選挙に関心をもってもらえるように、有名人ユーチューバーや声優に白山市のいいところや悪いところのメッセージを送ってもらっては。	声優や有名人ユーチューバーの市単独で採用はなかなか難しいと考えていますが、総務省が主権者教育動画を作成しており、18歳になったら選挙に行こうというアニメをユーチューブで公開しています。本市の選挙管理委員会のホームページにこのユーチューブのリンクがあります。

3	<p>市政について知識がなく興味を持ってない。専門的な言葉は分かりにくいので、行政の情報をかみ砕いて伝えてほしい。</p>	<p>行政運営の総合的な指針となる総合計画や総合戦略の計画策定時には、なるべく分かりやすい表現で策定しています。計画に表現される難しい用語等につきましては、注釈や説明書を掲載し、カタカナ表記等につきましても、できるだけ日本語で表記するようにしています。広報紙に掲載する記事につきましても、出来るだけ分かりやすい、理解できる内容で作成します。今後も若い方々の意見を取り入れながら、まちづくりに反映していきたいと考えております。</p>
4	<p>投票所が家の近くにあるとよい。</p>	<p>投票所は投票区内の公共施設を基本として考えております。投票所をこれ以上増やすには、選挙の投票管理者や立会人、事務従事者などの確保が難しく、また経費も膨大になります。告示の翌日から選挙期日の前日までを基本に、市内でイオンモールや翠星高校近くのアピタなど、商業施設を含む10か所で期日前投票、不在者投票ができますので、御活用いただきたいと考えています。</p>
5	<p>選挙公約を示したサイトがあるとよい。</p>	<p>選挙が告示または公示されますと、候補者が作成しました選挙公約などを取りまとめた選挙公報を全戸に郵送しており、インターネットでも公開しています。国、県の選挙は県のホームページ、市の選挙は市のホームページで、各選挙の特設ページで公開しておりますので、御覧になっていただければと思います。</p>

6	インターネットで気軽に投票ができるとよい。	<p>オンライン投票の実現には、本人確認、なりすまし投票への対策、二重投票の防止策、情報管理の徹底、信頼性確保のための改ざん防止策、システムトラブル時の対応、パソコンやスマホの扱いに不慣れな人たちのフォローなど、大きな課題が幾つもあります。実現されれば有権者の利便性のみならず、執行側の事務の効率化にもつながると思いますが、まだまだ先のことではないかと考えております。</p>
7	特典をつけるなど、メリットがあればよい。	<p>店舗の割引サービスなどは営利活動であり、選挙管理委員会が行う選挙啓発活動とは区別して考えなければならないと考えています。今後もほかの自治体等の動向を注視していきたいと考えております。</p>
8	大学、高校に投票所を設けてはどうか。	<p>高校ですと、投票できるのは高校3年生で18歳の誕生日を迎えた生徒のみということで、ほぼ有権者がいないということです。また、夏休や卒業式直前など、投票者があまりいない時期もあることや、文化祭やテスト期間に重なる場合もあります。金城大学では平成28年と平成29年に国政選挙で期日前投票所を設置しましたが、白山市民しかそこでは投票できませんので、なかなか投票が伸びなかったということです。投票率向上のため、このような機会があれば、啓蒙するなりして実施できないか、学校とも相談していきたいと思います。</p>

9	<p>小さな子供たちが遊びやすい遊具や施設がある街だとよい。</p>	<p>小さな子供たちが遊びやすい遊具については、市内の保育所、認定こども園などの保育施設に子供の成長に合った遊具を設置しております。また小さな子供たちが遊べる施設については、市内に児童館や児童センターなど13か所の設置施設があり、現在14か所目の（仮称）あさひ児童センターの建設を進めており、就学前の子供、親子や児童たちが自由に遊べる施設となっています。</p>
10	<p>18歳まで医療費が無料なので、受診できる医療機関が多いほうがよい。</p>	<p>白山市では県内の自治体の中ではいち早く平成27年度から、子供の医療費無料の対象年齢を18歳まで拡大しています。受診できる医療機関については、市内では歯科を含め103か所あり、全ての市内医療機関で、また全ての県内の医療機関でも無料で受診することができます。</p>
11	<p>イオンモールのような商業施設が多くて、買い物が便利なほうがよい。</p>	<p>市内にはイオンモール白山、アピタ松任、ラスパ白山、イオン松任といったショッピングモールがあるほか、昨年12月には北安田町のイータウン白山内に「無印良品」が北陸最大の売場面積でオープンしました。一方で、本市には個性的で魅力的なお店がたくさんあり、白山手取川ジオパーク観光にあわせ、お店を巡っていただければと考えております。</p>